

エディット・シュタイン（十字架の聖テレサ・ベネディクタおとめ）

8月9日任意記念日

20世紀のドイツで生きた聖女エディット・シュタインは、ユダヤ人の家庭で生まれ、カトリックに改宗し、女子カルメル会に入会して、ユダヤ人の中でアウシュヴィッツで殉教した聖女である。ここでは簡単な略年譜を紹介するにとどめる。

《略年譜》

- 1891年10月12日** 当時のドイツのブレスラウ（現在ポーランドのヴロツワーフ）に敬虔なユダヤ人家族（ドイツ国籍）の11人子女の末娘として誕生。4人の子供は早死にしている。父親の名前はジークフリート・シュタイン、母親の名前はアウグステ・クーラントである。両親は材木商を営んでいた。
- 1893年** 父ジークフリートが日射病によって亡くなる。その後、母アウグステが夫の仕事を継いで子供たちを育て上げる。
- 1897年10月12日** ブレスラウのヴィクトリア学校（プロテスタント）に入学。
- 1901年—1902年** エディットは二つの親しい人の自殺に遭遇する。
- 1906年4月** エディットの青春期の内的危機により、学校の勉強から離れる。10か月間、学校から離れている間、長姉エルゼの出産のお手伝いのために姉の家に身を寄せる。その後、エディットは意識的に信仰を拒絶する。
- 1908年—1911年** ヴィクトリア学校の女子高等部の在学

**1911年—1913年** ブレスラウ大学に在学。ドイツ語学、歴史学、心理学入門、哲学など勉強。大学へ行くエディットの心境の中に次の言葉が確信を持っていた。「私たちは、人類に奉仕するためにこの世にいるのです」<『自叙伝』より>

**1913年—1915年** ゲッティンゲン大学へ移籍し、勉学を継続。そこで、現象学者フッサールと出会う。また、その門下生であったマックス・シェラーとの出会いによって、エディットの前に学問的信仰の世界が開かれる。

<1914年7月28日、第一次世界大戦勃発>

ゲッティンゲン大学に移籍してから、1年後、ドクター論文の準備を始め、大学の勉強と合わせて忙しい勉学の時期に、身体的・精神的危機を迎える。「20歳過ぎたばかりなのに、ひどく痩せこけたと思います」<『自叙伝』より>。そのときに助けてくれた人が、もう一人のフッサール門下生のアドルフ・ライナッハであった。

**1915年** 教職の国家試験を受けて合格した後、オーストリアの前線の病院で、救護活動のボランティアをする。後にブレスラウにて、教育実習をする。

**1916年** ドクター論文『感情移入の問題について』を完成し、フライブルグ大学に移籍したフッサール教授に提出し、8月3日に最高点で受け入れられる。

エディットの最大の支持者、アドルフ・ライナッハが妻とともにプロテスタント教会の門をくぐる。

**1916年—1918年** エディットはフライブルグ大学に移籍し、フッサール教授の助手として働く。

**1917年3月** エディット、フライブルグ大学より哲学博士号を授与。

- 1917年11月 アドルフ・ライナッハの戦死。エディット、夫を亡くした夫人との出会いを通して、またアドルフ・ライナッハの遺品との出会いを通して十字架の神秘と遭遇する。
- 1918年 フッサール教授の助手を辞し、フライブルク大学から離れる。  
 <第一次世界大戦休戦>
- 1918年—1921年 エディット、人生の探究と宗教の探究が同時進行した。
- 1921年夏 アヴィラの聖テレサの『自叙伝』との出会い。これによりカトリック教会に入る決心が固まる。
- 1922年1月1日 ベルクツァベルン小教区教会で受洗。  
 洗礼名はテレジア。
- 1922年2月2日 シュパイアーの司教館聖堂で堅信を受ける。
- 1923年—1931年 シュパイアーのドミニコ会の聖マグダレナ女子高等学校と教員養成校で教職に就く（エディットの霊的指導者であった司教総代理シュヴィント師の紹介による）。カトリック校での教育者・養成者として修練される。
- 1925年 エディット、イエズス会士エーリッヒ・プシワラ師との最初の出会い。エディットはトマス研究に身を入れる。
- 1927年 司教総代理シュヴィント師帰天。
- 1928年 新しい霊的指導者ラファエル・ヴァルツァー大院長（ボイロンのベネディクト修道院）との最初の出会い。
- 1931年 教授資格習得のために、聖マグダレナ女子高等学校を辞職する。しかし、ナチスの台頭によりこの道も閉ざされる。
- 1932年—1933年 ミュンスターの教育学研究所の講師に就任。
- 1933年1月30日 ナチス党首ヒットラーが首相に就任。  
 ユダヤ人迫害が始まる。
- 1933年10月14日 ケルンの女子カルメル会入会。

- 1934年4月15日 着衣。修道名・十字架のテレジア・ベネディクタ。
- 1935年4月21日 初誓願宣立。
- 1938年4月12日 荘厳誓願宣立。
- 1938年12月31日 オランダのエヒトのカルメル会へ移る。
- 1939年9月3日 第二次世界大戦勃発。
- 1942年7月26日 <オランダ司教団、ナチスのユダヤ人強制移送に対するプロテストを表明>
- 1942年8月2日 エディット、姉と共に逮捕されオランダのヴェステルボルク収容所に抑留される。
- 1942年8月7日 アウシュヴィッツに送られる。
- 1942年8月9日 アウシュヴィッツのガス室で殺される。
- 1987年5月1日 教皇ヨハネ・パウロ二世により殉教者として列福。
- 1998年10月11日同教皇により列聖される。
- 1999年 スウェーデンの聖ビルジッタ、イタリアの聖カタリナと共にヨーロッパの保護の聖女となる。

#### 《参考文献》

- 『エディット シュタイン』マリヤ・アマータ・ナイヤー著、マリヤ・マグダレーナ・中松訳、エンデルレ書店、1992年。
- 『エディット・シュタイン 小伝と手記』コンラッド・ド・メーステル、エディット・シュタイン著；西宮カルメル会、福岡カルメル会訳 女子パウロ会、1999。
- 『エディット・シュタイン』鈴木宣明著、聖母の騎士者、1998年。
- 『エディット・シュタイン—愛と真理の炎』須沢かおり著、新世社、1993年。
- FRANCISCO JAVIER SANCHO FERMIN, *100 Fichas sobre Edith Stein*, Ed. Monte Carmelo, Burgos, 2005.

